

授業科目名： 動物基礎医学特別演習 A（岩手大 学）		単位数 8 単位	担当教員名： 主教授・准教授
			担当形態： 単独
配当年次： 1～4 年次通年	授業形態： 演習科目		開講形態： 主指導教員による研究指導
授業のテーマ及び到達目標： 主指導教員が履修者の研究内容について指導を行い、期間内に博士論文が完成出来るよう に研究指導を行う。履修者各自の研究課題に対して、講義で培った理解、スキルを基に研究 の理論的枠組みや仮説設定、実施、データ管理、解析、考察、先行研究との比較、研究の限 定性、成果発表法、学術論文作成法について学ぶ。			
授業の概要： 獣医学の基盤を担う動物基礎医学に関して、主指導教員が期間内に博士論文が完成出来る ように、研究テーマに合わせて総合的に研究指導する。			
授業計画： 動物基礎医学講座に所属する履修者の研究内容について指導を行う。 以下のとおり、博士論文の研究テーマに直結する研究分野の研究の理論的枠組みや仮説設定、実施、 データ管理、解析、考察、先行研究との比較、研究の限定性、成果発表法、学術論文作成法を指導する。 このことを通じて、博士論文に通じる学生の研究テーマに直接的に関与する技術、技能を養う。 ①研究テーマを協議し、それに応じた研究計画の立案を指導する。 ②研究の実際の実施方法を指導する。 ③博士論文作成に必要なデータの管理法、解析法を指導する。 ④先行研究との比較、研究の限定性を含めた考察を指導する。 ⑤学会などでの成果発表法を指導する。 ⑥学術論文の作成を指導する。 ⑦博士論文発表会での発表に対する準備を指導する。 ⑧博士論文の作成を指導する。 （落合 謙爾） 獣医病理学、動物疾病、病理発生、ウイルス、腫瘍 （木崎 景一郎） 動物生命科学、総合動物科学、分子細胞生理学 （佐藤 洋） 薬学、薬理、基礎医学、トキシコロジー、内分泌、実験病理、化学療法 （古市 達哉）			

動物生命科学、総合動物科学、実験動物学、疾患モデル動物学、発生工学

(山本 欣郎)

動物生命科学、総合動物科学、神経系比較組織学

(中牟田 信明)

動物生命科学、総合動物科学、感覚器解剖学

(山田 美鈴)

動物生命科学、統合動物科学、ホメオスタシス維持機構

テキスト：特になし

参考書・参考資料等：特になし

学生に対する評価：受講状況・態度や、実験手技ならびに結果の解釈における習熟度、理解度などにより総合的に評価する。